

北海道大学百五十年史

資料編二

凡例

- 一、本書『北海道大学百五十年史』資料編二は、一九四五年八月の第二次世界大戦終戦から二〇〇三年まで（国立大学法人化以前）の主要な関係資料を編年に配列し採録した。
- 二、各資料の通し番号、件名は編者が付した。
- 三、採録した資料の出典が刊行物の場合は、刊行物名、号数または発行年等を記載した。
- 四、採録した資料の出典が刊行物以外の場合は、その所蔵機関、資料名、資料番号等を記載した。ただし、北海道大学大学図書館所蔵資料については所蔵の記載を省略した。
- 五、署名・花押・印、起案の記録、字句の削除・訂正・加筆等は、必要と判断した場合のみ採録した。
- 六、表記は原則として次のように扱った。
 - (1) 漢字は原則として常用漢字を用い、人名等において慣用的に用いている場合を除き、異体字・俗字・略字等は使
用しなかった。
 - (2) 変体仮名は原則として通常の仮名に改めた。「ㇿ」以外の合字は片仮名二字に改めた。
 - (3) 明らかな誤りは訂正したが、意味の汲み取れるものはそのままとした。
 - (4) 字句に疑義がある場合、正しいと推測できる字句を「」で括り傍記した。推測が困難な場合は「ママ」と傍記した。
 - (5) 判読不能文字は、一文字ごとに□と表記した。
 - (6) 句読点は原文通りとし、平仮名・片仮名の混用は改めなかった。傍点・傍線・ルビは必要と判断した場合のみ採
録した。